

令和5年度 奨学金の返還者に関する属性調査結果

令和7年7月

独立行政法人 日本学生支援機構

< 目 次 >

I 調査の概要

II 調査結果

基礎情報

1. 奨学生本人の性別
2. 奨学生本人の年齢
3. 奨学金の種類
4. 奨学金の貸与学種

1 回答者および在学中の手續等に関すること

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| (1)回答者 | 表1-1 |
| (2)奨学金申請時に申込手続き（書類作成や入力作業）を行った者 | 表1-2 |
| (3)日本学生支援機構以外の貸与奨学金について | 表1-3-1～1-3-3 |
| (4)奨学金はどのように役に立ったか | 表1-4-1～1-4-2 |
| (5)返還義務を知った時期 | 表1-5 |
| (6)人的保証制度の選択理由 | 表1-6 |
| (7)機関保証制度の選択理由 | 表1-7 |
| (8)保証料額をどう思うか | 表1-8 |
| (9)保証料の支払方法はどのような方法がよいと思うか | 表1-9 |

2 返還について

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| (1)主に返還金を用意する人 | 表2-1-1～2-1-2 |
| (2)学種と主に返還金を用意する人との関係 | 表2-2-1～2-2-2 |
| (3)月々の返還額について | 表2-3-1～2-3-2 |
| (4)年収と月に返還できる金額との関係 | 表2-4-1～2-4-2 |
| (5)所得連動返還方式を利用したいと思うか | 表2-5 |
| (6)年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係 | 表2-6-1～2-6-2 |
| (7)日本学生支援機構からの情報提供は十分と思うか | 表2-7 |
| (8)月々の家計の支出における奨学金返還の優先度 | 表2-8 |
| (9) 年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係 | 表2-9-1～2-9-2 |
| (10)繰上返還を利用したことがあるか | 表2-10-1～2-10-2 |
| (11)年収と繰上返還の利用との関係 | 表2-11 |

3 奨学生本人の職業について

- | | |
|--------------|--------------|
| (1)奨学生本人の職業 | 表3-1-1～3-1-3 |
| (2)年齢と職業との関係 | 表3-2-1～3-2-2 |
| (3)学種と職業との関係 | 表3-3-1～3-3-2 |

4 奨学生本人の年収について

- | | |
|--------------|--------------|
| (1)奨学生本人の年収 | 表4-1-1～4-1-3 |
| (2)職業と年収との関係 | 表4-2-1～4-2-2 |
| (3)年齢と年収との関係 | 表4-3-1～4-3-2 |
| (4)学種と年収との関係 | 表4-4-1～4-4-2 |

5 延滞の状況 ※ (1)～(4)は延滞者に、(5)(6)(8)は無延滞者に質問。

(1)延滞している理由	表5-1-1～5-1-3
(2)主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係	表5-2
(3)年収と延滞している理由との関係	表5-3
(4)職業と延滞している理由との関係	表5-4
(5)延滞経験の有無	表5-5
(6)延滞になったことを何で知ったか	表5-6
(7)延滞をしたときに最初にしたこと	表5-7
(8)延滞を解消できた理由	表5-8

6 返還期限猶予制度・減額返還制度について

(1)返還期限猶予制度の認知状況	表6-1
(2)年齢と返還期限猶予制度の認知状況との関係	表6-2-1～6-2-2
(3)年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係	表6-3-1～6-3-2
(4)返還期限猶予制度を何で知ったか	表6-4-1～表6-4-3
(5)減額返還制度の認知状況	表6-5
(6)年齢と減額返還制度の認知状況との関係	表6-6-1～6-6-2
(7)年収と減額返還制度の認知状況との関係	表6-7-1～6-7-2
(8)減額返還制度を何で知ったか	表6-8

<調査票>

奨学金の返還に関するアンケート（延滞者用）

奨学金の返還に関するアンケート（無延滞者用）

（注意）

- 1 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
- 2 単位は人である。
- 3 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
- 4 複数回答の設問に関する表の各回答の比率は、合計しても100%にならない。
※ 各回答の比率は回答者数の合計に対する比率である。
- 5 表区分の年度は、調査年度を表す。

I 調査の概要

1 目的

奨学金返還者の状況を把握し、奨学金回収方策の検討のための基礎資料を得る。

2 調査対象

- (1) 令和5年12月末において、奨学金返還を3か月以上延滞している者（以下「延滞者」という。）から無作為抽出した16,000人。
- (2) 令和5年12月末において、奨学金返還を延滞していない者（以下「無延滞者」という。）から無作為抽出した10,000人。

3 調査方法

質問を記入した調査票を送付し、返信用封筒により返送を依頼した。

4 調査時期

令和6年2月

5 回答受入状況

	抽出人数	回答人数	回答率	参考母数（令和5年度末）
延滞者	16,000 人	1,473 人	9.2%	133 千人
無延滞者	10,000 人	1,414 人	14.1%	4,515 千人

※ 回答人数には無回答・不明回答を含まない。

（参考）令和5年度末現在の状況

① 返還を要する者（返還期日到来分のみ）	4,834千人
② 返還している者	4,515千人
③ 1日以上の延滞者	319千人
④ 3か月以上の延滞者	133千人

Ⅱ 調査結果

基礎情報

1 奨学生本人の性別

(単位：人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
男性	780	53.0%	675	47.7%
女性	693	47.0%	739	52.3%
計	1,473	100.0%	1,414	100.0%

2 奨学生本人の年齢

(単位：人)

年齢	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
20代以下	373	25.3%	606	42.9%
30代	504	34.2%	683	48.3%
40代	367	24.9%	111	7.9%
50代以上	229	15.5%	14	1.0%
計	1,473	100.0%	1,414	100.0%

3 奨学金の種類

(単位：人)

種別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
第一種	504	34.2%	612	43.3%
第二種	969	65.8%	802	56.7%
計	1,473	100.0%	1,414	100.0%

4 奨学金の貸与学種

(単位：人)

学種	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
高等学校	135	9.2%	3	0.2%
高等専門学校	4	0.3%	60	4.2%
短期大学	116	7.9%	71	5.0%
大学	807	54.8%	918	64.9%
大学院	53	3.6%	115	8.1%
専修学校専門課程	356	24.2%	246	17.4%
専修学校高等課程	2	0.1%	1	0.1%
計	1,473	100.0%	1,414	100.0%

1 回答者および在学中の手續等に関すること

(1)回答者（択一）

アンケート調査に回答した者は、延滞者、無延滞者ともに、おおよそ80%が「奨学生本人」、20%が「本人の親」である。

表1-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,156	79.3%	1,083	77.2%
本人の親	278	19.1%	315	22.5%
本人の配偶者（夫または妻）、パートナー	14	1.0%	5	0.4%
その他	10	0.7%	0	0.0%
計	1,458	100.0%	1,403	100.0%
無回答	15		11	

(2)奨学金申請時に申込手続き（書類作成や入力作業）を行った者（択一）

奨学金申請時の申込手続きを「奨学生本人」が行った比率は、無延滞者では59.4%であるのに対し延滞者では46.8%と低い。また、「奨学生本人」と「本人と親等」を合せてみても、無延滞者では84.0%であるのに対し、延滞者では71.8%しか申請時の申込手続きに奨学生本人が関わっていない。延滞者は無延滞者に比べて、親等が申請時の申込手続きを行った比率が高い。

表1-2

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	688	46.8%	840	59.4%
親（または祖父母等の家族、親戚）	326	22.2%	199	14.1%
本人と親等	368	25.0%	348	24.6%
その他	6	0.4%	0	0.0%
覚えていない・わからない	82	5.6%	26	1.8%
計	1,470	100.0%	1,413	100.0%
無回答	3		1	

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	764	47.9%	805	43.9%	879	41.9%	798	39.9%
親（または祖父母等の家族、親戚）	380	23.8%	467	25.5%	608	29.0%	564	28.2%
本人と親等	355	22.3%	441	24.1%	503	24.0%	476	23.8%
その他	5	0.3%	1	0.1%	5	0.2%	2	0.1%
覚えていない・わからない	91	5.7%	118	6.4%	103	4.9%	160	8.0%
計	1,595	100.0%	1,832	100.0%	2,098	100.0%	2,000	100.0%

【無延滞者】

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	834	59.0%	1,009	58.9%	1,192	59.0%	868	60.0%
親（または祖父母等の家族、親戚）	185	13.1%	245	14.3%	300	14.9%	161	11.1%
本人と親等	358	25.3%	425	24.8%	478	23.7%	385	26.6%
その他	1	0.1%	6	0.4%	1	0.0%	0	0.0%
覚えていない・わからない	36	2.5%	29	1.7%	48	2.4%	33	2.3%
計	1,414	100.0%	1,714	100.0%	2,019	100.0%	1,447	100.0%

(3)日本学生支援機構以外の貸与奨学金について

在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金（給付奨学金を除く）を受けていたか質問した。（択一）

在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた者は、延滞者で14.0%、無延滞者で8.8%でありいずれも85%以上が「受けていなかった」と回答している。

表1-3-1 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
受けていた	203	14.0%	124	8.8%
受けていなかった	1,244	86.0%	1,285	91.2%
計	1,447	100.0%	1,409	100.0%
無回答	26		5	

「在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた」と回答した者に対し、理由を質問した。（択一）

「機構の奨学金だけでは不足」と回答した者が多く占めており、延滞者で80.2%、無延滞者で72.4%となった。

表1-3-2 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
機構の奨学金だけでは不足だった	158	80.2%	89	72.4%
生活にゆとりを持ちたかった	11	5.6%	19	15.4%
その他	28	14.2%	15	12.2%
計	197	100.0%	123	100.0%
無回答	6		1	

「在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた」と回答した者に対し、金額を質問した。（択一）

延滞者では1万円～2万円未満と回答した者が29.0%と最も多く、無延滞者では1万円～2万円未満または5万円～6万円未満と回答した者がそれぞれ21.0%、20.0%と多かった。

表1-3-3 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
1万円未満	16	9.9%	7	6.7%
1万円～2万円未満	47	29.0%	22	21.0%
2万円～3万円未満	27	16.7%	12	11.4%
3万円～4万円未満	17	10.5%	9	8.6%
4万円～5万円未満	18	11.1%	15	14.3%
5万円～6万円未満	12	7.4%	21	20.0%
6万円～7万円未満	3	1.9%	6	5.7%
7万円～8万円未満	2	1.2%	2	1.9%
8万円以上	20	12.3%	11	10.5%
計	162	100.0%	105	100.0%
無回答	41		19	

(4)奨学金はどのように役に立ったか（複数回答）

奨学金がどのように役に立ったかについて、延滞者、無延滞者ともに「授業料等の学校納付金に使うことができた」が最も多い。また、延滞者、無延滞者ともに、「毎月の生活費に使うことができた」が2番目に多い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表1-4-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
授業料等の学校納付金に使うことができた	1,039	71.1%	972	68.8%
毎月の修学費（書籍、文具購入費等）に使うことができた	357	24.4%	402	28.5%
毎月の生活費に使うことができた	537	36.7%	650	46.0%
アルバイトの時間を減らすことができた	108	7.4%	220	15.6%
その他	74	5.1%	37	2.6%
回答者数	1,462		1,412	
無回答	11		2	

回答者のうち、2つ以上の効果を感じている者は、延滞者では30.6%、無延滞者では40.9%である。

表1-4-2

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
いずれか1つの効果を感じている人	1,014	69.4%	834	59.1%
2つ以上の効果を感じている人	448	30.6%	578	40.9%
計	1,462	100.0%	1,412	100.0%

(5)返還義務を知った時期（択一）

返還義務を知った時期は、無延滞者は「申込手続きを行う前」が88.5%であるのに対し、延滞者では54.4%にとどまり、申込手続きまでの認識が十分でないことがうかがえる。また、延滞者では、貸与終了後に返還義務を知った者の合計は12.8%で、そのうち約半数の6.4%は「延滞督促を受けてから」知ったと回答している。

表1-5

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	798	54.4%	1,251	88.5%
申込手続中	237	16.2%	85	6.0%
貸与中	99	6.7%	35	2.5%
貸与終了時	37	2.5%	9	0.6%
貸与終了後～返還開始前	55	3.7%	13	0.9%
返還開始～延滞督促前	40	2.7%	6	0.4%
延滞督促を受けてから	94	6.4%	3	0.2%
その他	7	0.5%	0	0.0%
わからない・覚えていない	100	6.8%	12	0.8%
計	1,467	100.0%	1,414	100.0%
無回答	6		0	

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	896	56.2%	1,006	55.1%	1,091	52.2%	996	50.3%
申込手続中	213	13.4%	258	14.1%	291	13.9%	287	14.5%
貸与中	93	5.8%	133	7.3%	122	5.8%	129	6.5%
貸与終了時	52	3.3%	44	2.4%	60	2.9%	65	3.3%
貸与終了後～返還開始前	57	3.6%	66	3.6%	95	4.5%	77	3.9%
返還開始～延滞督促前	58	3.6%	57	3.1%	80	3.8%	83	4.2%
延滞督促を受けてから	108	6.8%	140	7.7%	184	8.8%	163	8.2%
その他	14	0.9%	11	0.6%	17	0.8%	14	0.7%
わからない・覚えていない	103	6.5%	112	6.1%	150	7.2%	167	8.4%
計	1,594	100.0%	1,827	100.0%	2,090	100.0%	1,981	100.0%

【無延滞者】

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,260	89.1%	1,536	89.6%	1,793	88.9%	1,293	89.4%
申込手続中	86	6.1%	84	4.9%	111	5.5%	72	5.0%
貸与中	28	2.0%	32	1.9%	55	2.7%	40	2.8%
貸与終了時	3	0.2%	11	0.6%	13	0.6%	8	0.6%
貸与終了後～返還開始前	18	1.3%	23	1.3%	16	0.8%	14	1.0%
返還開始～延滞督促前	2	0.1%	5	0.3%	9	0.4%	3	0.2%
延滞督促を受けてから	1	0.1%	3	0.2%	2	0.1%	3	0.2%
その他	0	0.0%	1	0.1%	3	0.1%	1	0.1%
わからない・覚えていない	16	1.1%	20	1.2%	15	0.7%	13	0.9%
計	1,414	100.0%	1,715	100.0%	2,017	100.0%	1,447	100.0%

※日本学生支援機構では、奨学金を利用するにあたり、連帯保証人・保証人を選任する「人的保証」か、一定の保証料を支払うことにより保証機関（公財）日本国際教育支援協会が連帯保証する「機関保証」のいずれかの選択を求めている。

(6)人的保証制度の選択理由（択一）※無延滞者にのみ質問

人的保証制度を選択している者に、人的保証を選択した理由を質問した。

「親等からのアドバイス」と回答した比率が41.3%で最も高い。

表1-6

(単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
保証料が高かったから	95	11.8%
保証料を払いたくなかったから	150	18.6%
親等からのアドバイス	334	41.3%
機関保証にしても支払義務はなくなるから	5	0.6%
代位弁済後も支払義務はなくなるから	1	0.1%
制度がよくわからなかったから	192	23.8%
その他	31	3.8%
計	808	100.0%
無回答	57	

(7)機関保証制度の選択理由（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、機関保証を選択した理由を質問した。

「自分の意志と責任で奨学金を申し込みたかったから」と回答した比率が27.5%で最も高い。

表1-7

(単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
自分の意志と責任で奨学金を申し込みたかったから	100	27.5%
親などに自分の責任で奨学金を申し込むように言われたから	84	23.1%
連帯保証人・保証人になってくれる人がいなかったから	85	23.4%
連帯保証人・保証人を頼むのが面倒だったから	65	17.9%
その他	29	8.0%
計	363	100.0%
無回答	186	

(8)保証料額をどう思うか（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、保証料額をどう思うか質問した。

「適当」と回答した者の比率が43.6%で最も高く、次いで「やや高い」と回答した者の比率が34.3%である。

表1-8 (単位：人)

学種	無延滞者	
	人数	比率
とても高い	81	22.1%
やや高い	126	34.3%
適当	160	43.6%
やや低い	0	0.0%
とても低い	0	0.0%
計	367	100.0%
無回答	182	

(9) 保証料の支払方法はどのような方法がよいと思うか（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、保証料の支払方法としてよいと思う方法について質問した。

現在の支払方法である「貸与時に貸与月額から差し引く方法（現行の方法）」と回答した者の比率が、59.4%で最も高い。

表1-9 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
貸与時に貸与月額から差し引く方法（現行の方法）	222	59.4%
返還時に返還月額に上乗せして支払う方法	39	10.4%
上記以外の方法	1	0.3%
わからない	112	29.9%
計	374	100.0%
無回答	175	

2 返還について

(1)主に返還金を用意する人（択一）

「奨学生本人」が返還金を用意している比率は、延滞者では79.1%であるのに対し、無延滞者では86.0%である。一方、「本人の親」が返還金を用意している比率は、延滞者では17.1%で、無延滞者に比べて高い。

表2-1-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,149	79.1%	1,216	86.0%
本人の親	249	17.1%	163	11.5%
本人の配偶者・パートナー	31	2.1%	30	2.1%
その他	24	1.7%	5	0.4%
計	1,453	100.0%	1,414	100.0%
無回答	20		0	

「奨学生本人」以外が返還金を用意していると回答した者に対し、返還金を用意している人との関係について質問したところ、「連帯保証人」と回答した者の比率が延滞者53.2%、無延滞者は39.5%で最も高い。

表2-1-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
連帯保証人（人的保証）	157	53.2%	75	39.5%
保証人（人的保証）	56	19.0%	29	15.3%
機関保証の「本人以外の連絡先」に登録している人	11	3.7%	27	14.2%
上記以外	44	14.9%	28	14.7%
分からない	27	9.2%	31	16.3%
計	295	100.0%	190	100.0%
無回答	9		8	

(2)学種と主に返還金を用意する人との関係

学種と主に返還金を用意する人との関係を見ると、無延滞者は、ほぼ全ての学種において「奨学生本人」が返還金を用意している比率が80%以上で最も高い。延滞者では、他の学種と比べて高等学校・高等専門学校で「本人の親」が返還金を用意している比率がそれぞれ23.5%、25.0%で特に高い。

表2-2-1 学種×主に返還金を用意する人【延滞者】

(単位：人)

学種 主に返還金を用意する人	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	88	66.7%	2	50.0%	91	79.8%
本人の親	31	23.5%	1	25.0%	21	18.4%
本人の配偶者・パートナー	6	4.5%	1	25.0%	1	0.9%
その他	7	5.3%	0	0.0%	1	0.9%
計	132	100.0%	4	100.0%	114	100.0%
無回答	3		0		2	

学種 主に返還金を用意する人	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	641	80.3%	42	84.0%	283	80.2%	2	100.0%
本人の親	135	16.9%	8	16.0%	53	15.0%	0	0.0%
本人の配偶者・パートナー	10	1.3%	0	0.0%	13	3.7%	0	0.0%
その他	12	1.5%	0	0.0%	4	1.1%	0	0.0%
計	798	100.0%	50	100.0%	353	100.0%	2	100.0%
無回答	9		3		3		0	

表2-2-2 学種×主に返還金を用意する人【無延滞者】

(単位：人)

学種 主に返還金を用意する人	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	3	100.0%	55	91.7%	55	77.5%
本人の親	0	0.0%	4	6.7%	10	14.1%
本人の配偶者・パートナー	0	0.0%	1	1.7%	6	8.5%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	3	100.0%	60	100.0%	71	100.0%
無回答	0		0		0	

学種 主に返還金を用意する人	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	786	85.6%	110	95.7%	207	84.1%	0	0.0%
本人の親	111	12.1%	3	2.6%	34	13.8%	1	100.0%
本人の配偶者・パートナー	17	1.9%	1	0.9%	5	2.0%	0	0.0%
その他	4	0.4%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
計	918	100.0%	115	100.0%	246	100.0%	1	100.0%
無回答	0		0		0		0	

(3)月々の返還額について

現在の月々の返還額はいくらか質問した。(択一)

延滞者、無延滞者いずれにおいても「1万円～1万5千円未満」と回答した者の比率が最も高い。

表2-3-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
5千円未満	65	4.6%	24	1.7%
5千円～1万円未満	178	12.6%	178	12.8%
1万円～1万5千円未満	304	21.6%	464	33.3%
1万5千円～2万円未満	282	20.0%	320	23.0%
2万円～2万5千円未満	198	14.1%	183	13.1%
2万5千円～3万円未満	118	8.4%	85	6.1%
3万円～3万5千円未満	115	8.2%	68	4.9%
3万5千円～4万円未満	44	3.1%	35	2.5%
4万円以上	104	7.4%	35	2.5%
計	1,408	100.0%	1,392	100.0%
無回答	65		22	

また、現在の返還額を基準とすると月にどれくらいの金額であれば無理なく返還できるかについては、以下のとおりとなった。

無延滞者では「現在の返還額で良い」と回答した者の比率が59.8%と最も高くなっているのに対し、延滞者では「2分の1程度」、「4分の1程度」と回答した者の比率がそれぞれ27.3%、23.6%と高くなっている。

表2-3-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	358	25.5%	133	9.5%
3分の1程度	227	16.2%	95	6.8%
2分の1程度	383	27.3%	254	18.2%
3分の2程度	104	7.4%	79	5.7%
現在の返還額で良い	332	23.6%	836	59.8%
計	1,404	100.0%	1,397	100.0%
無回答	69		17	

(4) 年収と月に返還できる金額との関係

奨学生本人の年収と月に返還できる金額との関係をみると、延滞者では年収「100万円」を境に、月に返還できる金額の区分が高くなる。

表2-4-1 年収×月に返還できる金額【延滞者】

(単位：人)

年収 月に返還できる金額	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	56	39.7%	68	31.2%	64	26.3%	74	22.6%
3分の1程度	15	10.6%	42	19.3%	41	16.9%	59	18.0%
2分の1程度	28	19.9%	49	22.5%	69	28.4%	89	27.2%
3分の2程度	7	5.0%	14	6.4%	19	7.8%	29	8.9%
現在の返還額で良い	35	24.8%	45	20.6%	50	20.6%	76	23.2%
計	141	100.0%	218	100.0%	243	100.0%	327	100.0%
無回答	21		14		14		3	

年収 月に返還できる金額	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	42	20.3%	16	16.0%	12	19.7%	5	21.7%
3分の1程度	31	15.0%	18	18.0%	11	18.0%	0	0.0%
2分の1程度	64	30.9%	37	37.0%	17	27.9%	11	47.8%
3分の2程度	14	6.8%	12	12.0%	4	6.6%	1	4.3%
現在の返還額で良い	56	27.1%	17	17.0%	17	27.9%	6	26.1%
計	207	100.0%	100	100.0%	61	100.0%	23	100.0%
無回答	4		1		0		0	

年収 月に返還できる金額	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	19	33.3%
3分の1程度	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	9	15.8%
2分の1程度	3	27.3%	3	37.5%	1	12.5%	12	21.1%
3分の2程度	2	18.2%	1	12.5%	0	0.0%	1	1.8%
現在の返還額で良い	5	45.5%	3	37.5%	6	75.0%	16	28.1%
計	11	100.0%	8	100.0%	8	100.0%	57	100.0%
無回答	0		0		0		12	

無延滞者については、「現在の返還額で良い」と回答した者が全収入区分を通じて高い比率となった。

表2-4-2 年収×月に返還できる程度【無延滞者】

(単位：人)

年収 月に返還できる程度	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	7	11.3%	8	10.5%	16	14.8%	27	9.3%
3分の1程度	4	6.5%	3	3.9%	13	12.0%	25	8.6%
2分の1程度	9	14.5%	24	31.6%	18	16.7%	55	19.0%
3分の2程度	4	6.5%	5	6.6%	6	5.6%	22	7.6%
現在の返還額で良い	38	61.3%	36	47.4%	55	50.9%	161	55.5%
計	62	100.0%	76	100.0%	108	100.0%	290	100.0%
無回答	1		0		2		3	

年収 月に返還できる程度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	20	6.8%	24	10.4%	12	9.4%	5	6.3%
3分の1程度	14	4.8%	18	7.8%	9	7.1%	7	8.8%
2分の1程度	59	20.1%	46	20.0%	18	14.2%	7	8.8%
3分の2程度	19	6.5%	14	6.1%	3	2.4%	4	5.0%
現在の返還額で良い	182	61.9%	128	55.7%	85	66.9%	57	71.3%
計	294	100.0%	230	100.0%	127	100.0%	80	100.0%
無回答	4		1		1		0	

年収 月に返還できる程度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	5	13.5%	3	14.3%	2	5.4%	4	11.4%
3分の1程度	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%
2分の1程度	7	18.9%	3	14.3%	1	2.7%	7	20.0%
3分の2程度	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%
現在の返還額で良い	23	62.2%	15	71.4%	34	91.9%	22	62.9%
計	37	100.0%	21	100.0%	37	100.0%	35	100.0%
無回答	2		0		0		3	

(5)所得連動返還方式を利用したいと思うか（択一）

収入額に応じて、収入が低い間は少ない金額を、収入が高くなったら多い金額を返還していく「所得連動返還方式」を利用できるとしたら利用したいと回答した比率は、延滞者では34.4%で高くなり、無延滞者では、「利用したくない（定額が良い）」と回答した比率が48.6%で高くなっている。

表2-5

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
利用したい	492	34.4%	319	22.6%
利用したくない（定額が良い）	321	22.4%	686	48.6%
現在利用している	9	0.6%	15	1.1%
よくわからない	610	42.6%	391	27.7%
計	1,432	100.0%	1,411	100.0%
無回答	41		3	

(6) 年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係

奨学生本人の年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係をみると、延滞者では年収「500万円以下」で「利用したい」と思う比率が高く、無延滞者では年収にかかわらず「利用したくない」と思う比率が高い。

表2-6-1 年収×所得連動返還方式を利用したいと思うか【延滞者】

(単位：人)

年収 所得連動返還方式の利用	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	40	25.8%	93	41.0%	103	41.5%	115	35.7%
利用したくない（定額が良い）	25	16.1%	39	17.2%	41	16.5%	74	23.0%
現在利用している	0	0.0%	2	0.9%	1	0.4%	1	0.3%
よくわからない	90	58.1%	93	41.0%	103	41.5%	132	41.0%
計	155	100.0%	227	100.0%	248	100.0%	322	100.0%
無回答	7		5		9		8	

年収 所得連動返還方式の利用	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	70	33.8%	31	31.0%	14	23.3%	5	21.7%
利用したくない（定額が良い）	56	27.1%	29	29.0%	25	41.7%	8	34.8%
現在利用している	0	0.0%	3	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
よくわからない	81	39.1%	37	37.0%	21	35.0%	10	43.5%
計	207	100.0%	100	100.0%	60	100.0%	23	100.0%
無回答	4		1		1		0	

年収 所得連動返還方式の利用	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	1	9.1%	1	12.5%	3	37.5%	16	25.4%
利用したくない（定額が良い）	5	45.5%	5	62.5%	4	50.0%	10	15.9%
現在利用している	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
よくわからない	4	36.4%	2	25.0%	1	12.5%	36	57.1%
計	11	100.0%	8	100.0%	8	100.0%	63	100.0%
無回答	0		0		0		6	

表2-6-2 年収×所得連動返還方式を利用したいと思うか【無延滞者】

(単位：人)

年収 所得連動返還方式の利用	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	13	20.6%	18	23.7%	32	29.1%	74	25.4%
利用したくない（定額が良い）	29	46.0%	39	51.3%	42	38.2%	126	43.3%
現在利用している	0	0.0%	0	0.0%	2	1.8%	3	1.0%
よくわからない	21	33.3%	19	25.0%	34	30.9%	88	30.2%
計	63	100.0%	76	100.0%	110	100.0%	291	100.0%
無回答	0		0		0		2	

年収 所得連動返還方式の利用	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	64	21.5%	53	22.9%	26	20.3%	18	22.5%
利用したくない（定額が良い）	142	47.7%	115	49.8%	75	58.6%	48	60.0%
現在利用している	7	2.3%	1	0.4%	1	0.8%	0	0.0%
よくわからない	85	28.5%	62	26.8%	26	20.3%	14	17.5%
計	298	100.0%	231	100.0%	128	100.0%	80	100.0%
無回答	0		0		0		0	

年収 所得連動返還方式の利用	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	12	30.8%	3	14.3%	4	10.8%	2	5.4%
利用したくない（定額が良い）	22	56.4%	13	61.9%	22	59.5%	13	35.1%
現在利用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.7%
よくわからない	5	12.8%	5	23.8%	11	29.7%	21	56.8%
計	39	100.0%	21	100.0%	37	100.0%	37	100.0%
無回答	0		0		0		1	

(7)日本学生支援機構からの情報提供は十分と思うか（択一）

日本学生支援機構からの情報提供について、十分だと思う者（「十分だと思う」＋「まあそう思う」）は、延滞者では44.3%、無延滞者では46.3%である。

表2-7

（単位：人）

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
十分だと思う	291	20.2%	44.3%	211	15.4%	46.3%
まあそう思う	348	24.1%		421	30.8%	
どちらともいえない	527	36.6%	36.6%	499	36.5%	36.5%
そう思わない	171	11.9%	19.1%	167	12.2%	17.2%
全くそう思わない	104	7.2%		68	5.0%	
計	1,441	100.0%	100.0%	1,366	100.0%	100.0%
無回答	32			48		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
十分だと思う	284	18.2%	367	20.4%	377	18.5%	422	21.3%
まあそう思う	374	23.9%	458	25.5%	487	23.9%	454	22.9%
どちらともいえない	576	36.9%	639	35.5%	736	36.1%	680	34.4%
そう思わない	204	13.1%	194	10.8%	274	13.4%	283	14.3%
全くそう思わない	125	8.0%	140	7.8%	165	8.1%	140	7.1%
計	1,563	100.0%	1,798	100.0%	2,039	100.0%	1,979	100.0%

【無延滞者】

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
十分だと思う	241	17.2%	313	18.4%	324	16.3%	249	17.3%
まあそう思う	450	32.1%	554	32.5%	732	36.9%	513	35.6%
どちらともいえない	500	35.6%	568	33.4%	671	33.8%	485	33.7%
そう思わない	160	11.4%	197	11.6%	191	9.6%	145	10.1%
全くそう思わない	53	3.8%	71	4.2%	66	3.3%	49	3.4%
計	1,404	100.0%	1,703	100.0%	1,984	100.0%	1,441	100.0%

(8)月々の家計の支出における奨学金返還の優先度（複数回答）

月々の家計の支出における奨学金返還の優先度について、延滞者では「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」が49.7%、「他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される」が34.6%に対し、無延滞者では94.5%が「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」と回答している。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-8

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	706	49.7%	1,309	94.5%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	492	34.6%	55	4.0%
食費の方が優先される	344	24.2%	76	5.5%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	352	24.8%	50	3.6%
交際費の方が優先される	43	3.0%	16	1.2%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	69	4.9%	32	2.3%
返還期限猶予（申請）中	215	15.1%	6	0.4%
支払っていない	397	27.9%	6	0.4%
回答者数	1,421		1,385	
無回答	52		29	

(9) 年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係（複数回答）

奨学生本人の年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係をみると、延滞者・無延滞者いずれも、全ての年収帯で「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」の割合が高い。

※比率は(8)の回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-9-1 年収×月々の家計の支出における奨学金返還の優先度【延滞者】

（単位：人）

年収 奨学金返還の優先度	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	53	3.7%	94	6.6%	111	7.8%	156	11.0%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	34	2.4%	55	3.9%	80	5.6%	132	9.3%
食費の方が優先される	34	2.4%	61	4.3%	57	4.0%	83	5.8%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	29	2.0%	44	3.1%	63	4.4%	89	6.3%
交際費の方が優先される	2	0.1%	4	0.3%	6	0.4%	15	1.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	16	1.1%	9	0.6%	10	0.7%	14	1.0%
返還期限猶予（申請）中	45	3.2%	50	3.5%	48	3.4%	40	2.8%
支払っていない	63	4.4%	65	4.6%	84	5.9%	88	6.2%
回答者数	158		222		249		318	
無回答	4		10		8		12	

年収 奨学金返還の優先度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	126	8.9%	63	4.4%	33	2.3%	20	1.4%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	86	6.1%	54	3.8%	22	1.5%	10	0.7%
食費の方が優先される	48	3.4%	27	1.9%	14	1.0%	8	0.6%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	66	4.6%	30	2.1%	13	0.9%	3	0.2%
交際費の方が優先される	6	0.4%	3	0.2%	2	0.1%	1	0.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	12	0.8%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
返還期限猶予（申請）中	10	0.7%	4	0.3%	4	0.3%	0	0.0%
支払えていない	47	3.3%	16	1.1%	12	0.8%	2	0.1%
回答者数	205		100		59		22	
無回答	6		1		2		1	

年収 奨学金返還の優先度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	7	0.5%	6	0.4%	6	0.4%	31	2.2%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	5	0.4%	2	0.1%	3	0.2%	9	0.6%
食費の方が優先される	4	0.3%	1	0.1%	2	0.1%	5	0.4%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	3	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	8	0.6%
交際費の方が優先される	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	5	0.4%
返還期限猶予（申請）中	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	13	0.9%
支払えていない	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	17	1.2%
回答者数	11		8		8		61	
無回答	0		0		0		8	

表2-9-2 年収×月々の家計の支出における奨学金返還の優先度【無延滞者】

(単位：人)

年収 奨学金返還の優先度	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	54	3.9%	66	4.8%	93	6.7%	264	19.1%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	3	0.2%	6	0.4%	6	0.4%	13	0.9%
食費の方が優先される	5	0.4%	8	0.6%	12	0.9%	19	1.4%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	2	0.1%	4	0.3%	6	0.4%	14	1.0%
交際費の方が優先される	0	0.0%	1	0.1%	2	0.1%	4	0.3%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	5	0.4%	3	0.2%	4	0.3%	5	0.4%
返還期限猶予（申請）中	3	0.2%	0	0.0%	2	0.1%	1	0.1%
支払っていない	3	0.2%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.1%
回答者数	62		71		109		282	
無回答	1		5		1		11	

年収 奨学金返還の優先度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	279	20.1%	222	16.0%	126	9.1%	76	5.5%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	12	0.9%	8	0.6%	2	0.1%	2	0.1%
食費の方が優先される	12	0.9%	11	0.8%	2	0.1%	3	0.2%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	11	0.8%	8	0.6%	2	0.1%	0	0.0%
交際費の方が優先される	2	0.1%	5	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	8	0.6%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
返還期限猶予（申請）中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	295		227		127		80	
無回答	3		4		1		0	

年収 奨学金返還の優先度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	39	2.8%	21	1.5%	36	2.6%	33	2.4%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	2	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
食費の方が優先される	3	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	2	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
交際費の方が優先される	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	3	0.2%
返還期限猶予（申請）中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	39		21		37		35	
無回答	0		0		0		3	

(10)繰上返還を利用したことがあるか（択一）

無延滞の者に対し、繰上返還を利用したことがあるか質問したところ、「ない」が80.9%で最も高かった。

表2-10-1 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
ある	144	10.2%
ない	1,137	80.9%
制度を知らない	125	8.9%
計	1,406	100.0%
無回答	8	

繰上返還を行った理由（複数回答可）については、「早く返したかった」が74.1%で最も高く、次いで「資金に余裕ができた」が42.0%で高かった。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-10-2 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
資金に余裕ができた	60	42.0%
早く返したかった	106	74.1%
親・家族等から資金援助があった	34	23.8%
奨学金の残りがあった	14	9.8%
延滞する前に払い終わりたかった	2	1.4%
回答者数	143	
無回答	1	

(11) 年収と繰上返還の利用との関係

奨学生本人の年収と繰上返還の利用有無との関係を見ると、以下のとおりとなった。

表2-11 年収×繰上返還の利用有無【無延滞者】

(単位：人)

繰上返還の利用 年収	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	7	11.1%	2	2.7%	5	4.6%	26	8.9%
ない	52	82.5%	63	84.0%	93	85.3%	236	80.5%
制度を知らない	4	6.3%	10	13.3%	11	10.1%	31	10.6%
回答者数	63	100.0%	75	100.0%	109	100.0%	293	100.0%
無回答	0		1		1		0	

繰上返還の利用 年収	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	39	13.1%	25	10.9%	14	11.0%	12	15.0%
ない	237	79.5%	188	82.1%	100	78.7%	66	82.5%
制度を知らない	22	7.4%	16	7.0%	13	10.2%	2	2.5%
回答者数	298		229		127		80	
無回答	0		2		1		0	

繰上返還の利用 年収	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	3	7.7%	4	19.0%	2	5.6%	5	13.9%
ない	34	87.2%	17	81.0%	27	75.0%	24	66.7%
制度を知らない	2	5.1%	0	0.0%	7	19.4%	7	19.4%
回答者数	39		21		36		36	
無回答	0		0		1		2	

3 奨学生本人の職業について

(1)奨学生本人の職業（択一）

奨学生本人の職業は、延滞者では「正社（職）員・従業員」40.8%、「非正規社（職）員・従業員」27.8%、「無職・失業中／休職中」16.0%であるのに対し、無延滞者では「正社（職）員・従業員」73.7%、「非正規社（職）員・従業員」12.5%、「無職・失業中／休職中」5.1%で、無延滞者の方が延滞者より安定した就業状況にあるといえる。

男女別でみると、延滞者の女性で「非正規社（職）員・従業員」の比率が高い。

表3-1-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	597	40.8%	1,041	73.7%
非正規社（職）員・従業員	407	27.8%	176	12.5%
自営業／家業	122	8.3%	49	3.5%
学生（留学を含む）	9	0.6%	17	1.2%
専業主婦（夫）	48	3.3%	40	2.8%
無職・失業中／休職中	234	16.0%	72	5.1%
その他	45	3.1%	17	1.2%
計	1,462	100.0%	1,412	100.0%
無回答	11		2	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	655	41.1%	725	39.9%	856	41.0%	828	40.7%
非正規社（職）員・従業員	449	28.2%	543	29.9%	600	28.7%	628	30.9%
自営業／家業	136	8.5%	138	7.6%	150	7.2%	143	7.0%
学生（留学を含む）	7	0.4%	8	0.4%	10	0.5%	5	0.2%
専業主婦（夫）	38	2.4%	60	3.3%	81	3.9%	93	4.6%
無職・失業中／休職中	261	16.4%	286	15.7%	337	16.1%	297	14.6%
その他	47	3.0%	58	3.2%	55	2.6%	41	2.0%
計	1,593	100.0%	1,818	100.0%	2,089	100.0%	2,035	100.0%

【無延滞者】

（単位：人）

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	1,051	74.5%	1,276	74.5%	1,546	76.6%	1,084	74.3%
非正規社（職）員・従業員	185	13.1%	226	13.2%	253	12.5%	203	13.9%
自営業／家業	39	2.8%	50	2.9%	50	2.5%	37	2.5%
学生（留学を含む）	22	1.6%	19	1.1%	22	1.1%	18	1.2%
専業主婦（夫）	39	2.8%	66	3.9%	60	3.0%	54	3.7%
無職・失業中／休職中	59	4.2%	60	3.5%	68	3.4%	58	4.0%
その他	16	1.1%	15	0.9%	19	0.9%	4	0.3%
計	1,411	100.0%	1,712	100.0%	2,018	100.0%	1,458	100.0%

表3-1-2【延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	380	49.2%	217	31.5%	597	40.8%
非正規社（職）員・従業員	159	20.6%	248	36.0%	407	27.8%
自営業／家業	79	10.2%	43	6.2%	122	8.3%
学生（留学を含む）	3	0.4%	6	0.9%	9	0.6%
専業主婦（夫）	1	0.1%	47	6.8%	48	3.3%
無職・失業中／休職中	125	16.2%	109	15.8%	234	16.0%
その他	26	3.4%	19	2.8%	45	3.1%
計	773	100.0%	689	100.0%	1,462	100.0%
無回答	7		4		11	

表3-1-3【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	564	83.6%	477	64.7%	1,041	73.7%
非正規社（職）員・従業員	39	5.8%	137	18.6%	176	12.5%
自営業／家業	31	4.6%	18	2.4%	49	3.5%
学生（留学を含む）	7	1.0%	10	1.4%	17	1.2%
専業主婦（夫）	0	0.0%	40	5.4%	40	2.8%
無職・失業中／休職中	27	4.0%	45	6.1%	72	5.1%
その他	7	1.0%	10	1.4%	17	1.2%
計	675	100.0%	737	100.0%	1,412	100.0%
無回答	0		2		2	

(2)年齢と職業との関係

奨学生本人の年齢と職業との関係を見ると、無延滞者は20代以下から40代まで「正社（職）員・従業員」の比率が70%程度だが、延滞者は40%程度にとどまっている。また、延滞者では「非正規社（職）員・従業員」の割合が全ての年代で20%～30%となっており、無延滞者の割合と比較すると高い。

表3-2-1 年齢×職業【延滞者】

(単位：人)

年齢 職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	150	40.3%	241	48.1%	157	43.1%	49	21.8%
非正規社（職）員・従業員	128	34.4%	119	23.8%	89	24.5%	71	31.6%
自営業／家業	16	4.3%	38	7.6%	38	10.4%	30	13.3%
学生（留学を含む）	5	1.3%	2	0.4%	1	0.3%	1	0.4%
専業主婦（夫）	8	2.2%	16	3.2%	16	4.4%	8	3.6%
無職・失業中／休職中	61	16.4%	74	14.8%	45	12.4%	54	24.0%
その他	4	1.1%	11	2.2%	18	4.9%	12	5.3%
計	372	100.0%	501	100.0%	364	100.0%	225	100.0%
無回答	1		3		3		4	

表3-2-2 年齢×職業【無延滞者】

(単位：人)

年齢 職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	456	75.2%	503	73.9%	77	69.4%	5	35.7%
非正規社（職）員・従業員	76	12.5%	82	12.0%	12	10.8%	6	42.9%
自営業／家業	13	2.1%	22	3.2%	12	10.8%	2	14.3%
学生（留学を含む）	15	2.5%	1	0.1%	1	0.9%	0	0.0%
専業主婦（夫）	11	1.8%	24	3.5%	5	4.5%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	27	4.5%	42	6.2%	3	2.7%	0	0.0%
その他	8	1.3%	7	1.0%	1	0.9%	1	7.1%
計	606	100.0%	681	100.0%	111	100.0%	14	100.0%
無回答	0		2		0		0	

(3)学種と職業との関係

奨学生本人の学種と職業との関係を見ると、無延滞者は学種に関係なく「正社（職）員・従業員」の比率が60～80%程度であるのに対し、延滞者では学種により傾向が異なる。

表3-3-1 学種×職業【延滞者】

(単位：人)

職業 \ 学種	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	25	18.8%	3	75.0%	43	37.4%
非正規社（職）員・従業員	46	34.6%	1	25.0%	37	32.2%
自営業／家業	9	6.8%	0	0.0%	7	6.1%
学生（留学を含む）	1	0.8%	0	0.0%	1	0.9%
専業主婦（夫）	11	8.3%	0	0.0%	3	2.6%
無職・失業中／休職中	35	26.3%	0	0.0%	19	16.5%
その他	6	4.5%	0	0.0%	5	4.3%
計	133	100.0%	4	100.0%	115	100.0%
無回答	2		0		1	

職業 \ 学種	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	361	45.0%	16	30.8%	148	41.8%	1	50.0%
非正規社（職）員・従業員	202	25.2%	15	28.8%	106	29.9%	0	0.0%
自営業／家業	76	9.5%	10	19.2%	20	5.6%	0	0.0%
学生（留学を含む）	7	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
専業主婦（夫）	19	2.4%	0	0.0%	15	4.2%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	113	14.1%	10	19.2%	56	15.8%	1	50.0%
その他	24	3.0%	1	1.9%	9	2.5%	0	0.0%
計	802	100.0%	52	100.0%	354	100.0%	2	100.0%
無回答	5		1		2		0	

表3-3-2 学種×職業【無延滞者】

(単位：人)

職業 \ 学種	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	2	66.7%	53	88.3%	41	57.7%
非正規社（職）員・従業員	1	33.3%	4	6.7%	15	21.1%
自営業／家業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学生（留学を含む）	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%
専業主婦（夫）	0	0.0%	1	1.7%	6	8.5%
無職・失業中／休職中	0	0.0%	2	3.3%	8	11.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	3	100.0%	60	100.0%	71	100.0%
無回答	0		0		0	

職業 \ 学種	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	713	77.8%	89	77.4%	143	58.1%	0	0.0%
非正規社（職）員・従業員	89	9.7%	11	9.6%	56	22.8%	0	0.0%
自営業／家業	27	2.9%	8	7.0%	14	5.7%	0	0.0%
学生（留学を含む）	12	1.3%	1	0.9%	3	1.2%	0	0.0%
専業主婦（夫）	26	2.8%	1	0.9%	6	2.4%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	40	4.4%	3	2.6%	18	7.3%	1	100.0%
その他	9	1.0%	2	1.7%	6	2.4%	0	0.0%
計	916	100.0%	115	100.0%	246	100.0%	1	100.0%
無回答	2		0		0		0	

4 奨学生本人の年収について

(1)奨学生本人の年収（択一）

奨学生本人の年収について、「300万円以下」の比率は、延滞者では合計67.2%であるのに対し、無延滞者では合計38.6%と大きな差がみられる。

男女別でみると、延滞者、無延滞者ともに、男性より女性の方が収入の低い区分の比率が高く、特に延滞者の女性で「200万円以下」の比率が高い。

表4-1-1

(単位：人)

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
0円	162	11.1%	67.2%	63	4.5%	38.6%
100万円以下	232	15.9%		76	5.4%	
100万円超～200万円以下	257	17.6%		110	7.8%	
200万円超～300万円以下	330	22.6%		293	20.9%	
300万円超～400万円以下	211	14.5%	29.0%	298	21.2%	59.4%
400万円超～500万円以下	101	6.9%		231	16.4%	
500万円超～600万円以下	61	4.2%		128	9.1%	
600万円超～700万円以下	23	1.6%		80	5.7%	
700万円超～800万円以下	11	0.8%		39	2.8%	
800万円超～900万円以下	8	0.5%		21	1.5%	
900万円超	8	0.5%		37	2.6%	
わからない	53	3.6%	3.6%	29	2.1%	2.1%
計	1,457	100.0%	100.0%	1,405	100.0%	100.0%
無回答	16			9		

表4-1-2【延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	63	8.2%	99	14.5%	162	11.1%	67.3%
100万円以下	91	11.8%	141	20.6%	232	15.9%	
100万円超～200万円以下	102	13.2%	155	22.7%	257	17.6%	
200万円超～300万円以下	177	22.9%	153	22.4%	330	22.6%	
300万円超～400万円以下	151	19.5%	60	8.8%	211	14.5%	29.0%
400万円超～500万円以下	64	8.3%	37	5.4%	101	6.9%	
500万円超～600万円以下	48	6.2%	13	1.9%	61	4.2%	
600万円超～700万円以下	21	2.7%	2	0.3%	23	1.6%	
700万円超～800万円以下	10	1.3%	1	0.1%	11	0.8%	
800万円超～900万円以下	7	0.9%	1	0.1%	8	0.5%	
900万円超	7	0.9%	1	0.1%	8	0.5%	
わからない	32	4.1%	21	3.1%	53	3.6%	3.6%
計	773	100.0%	684	100.0%	1,457	100.0%	100.0%
無回答	7		9		16		

表4-1-3【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	16	2.4%	47	6.4%	63	4.5%	38.6%
100万円以下	17	2.5%	59	8.0%	76	5.4%	
100万円超～200万円以下	27	4.0%	83	11.3%	110	7.8%	
200万円超～300万円以下	99	14.8%	194	26.3%	293	20.9%	
300万円超～400万円以下	141	21.1%	157	21.3%	298	21.2%	59.4%
400万円超～500万円以下	116	17.4%	115	15.6%	231	16.4%	
500万円超～600万円以下	82	12.3%	46	6.2%	128	9.1%	
600万円超～700万円以下	62	9.3%	18	2.4%	80	5.7%	
700万円超～800万円以下	33	4.9%	6	0.8%	39	2.8%	
800万円超～900万円以下	19	2.8%	2	0.3%	21	1.5%	
900万円超	35	5.2%	2	0.3%	37	2.6%	
わからない	21	3.1%	8	1.1%	29	2.1%	2.1%
計	668	100.0%	737	100.0%	1,405	100.0%	100.0%
無回答	7		2		9		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
0円	192	12.1%	69.0%	207	11.4%	68.2%	239	11.5%	69.4%
100万円以下	240	15.1%		284	15.7%		347	16.7%	
100万円超～200万円以下	306	19.3%		350	19.3%		400	19.3%	
200万円超～300万円以下	355	22.4%		395	21.8%		454	21.9%	
300万円超～400万円以下	243	15.3%	28.3%	260	14.3%	28.0%	287	13.8%	27.8%
400万円超～500万円以下	96	6.1%		108	6.0%		127	6.1%	
500万円超～600万円以下	48	3.0%		71	3.9%		78	3.8%	
600万円超～700万円以下	29	1.8%		34	1.9%		42	2.0%	
700万円超～800万円以下	10	0.6%		13	0.7%		19	0.9%	
800万円超～900万円以下	8	0.5%		5	0.3%		8	0.4%	
900万円超	15	0.9%		16	0.9%		15	0.7%	
わからない	43	2.7%	2.7%	69	3.8%	3.8%	58	2.8%	2.8%
計	1,585	100.0%	100.0%	1,812	100.0%	100.0%	2,074	100.0%	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
0円	62	4.4%	40.0%	93	5.5%	42.9%	75	3.7%	41.2%
100万円以下	79	5.6%		100	5.9%		116	5.8%	
100万円超～200万円以下	144	10.2%		162	9.5%		194	9.7%	
200万円超～300万円以下	279	19.8%		375	22.0%		441	22.0%	
300万円超～400万円以下	327	23.2%	58.3%	356	20.9%	54.5%	446	22.2%	57.1%
400万円超～500万円以下	194	13.8%		242	14.2%		273	13.6%	
500万円超～600万円以下	131	9.3%		153	9.0%		195	9.7%	
600万円超～700万円以下	78	5.5%		64	3.8%		97	4.8%	
700万円超～800万円以下	30	2.1%		39	2.3%		50	2.5%	
800万円超～900万円以下	15	1.1%		26	1.5%		30	1.5%	
900万円超	46	3.3%		47	2.8%		54	2.7%	
わからない	24	1.7%	1.7%	45	2.6%	2.6%	35	1.7%	1.7%
計	1,409	100.0%	100.0%	1,702	100.0%	100.0%	2,006	100.0%	100.0%

(2)職業と年収との関係

奨学生本人の職業と年収の関係をみると、延滞者の「正社（職）員・従業員」は、「200万円超～400万円以下」比率が高く、無延滞者の「正社（職）員・従業員」は、「300万円超～500万円以下」の比率が高い。

「非正規社（職）員・従業員」については、延滞者、無延滞者いずれにおいても「100万円超～200万円以下」の比率が高い。

表4-2-1 職業×年収【延滞者】

(単位：人)

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	2	0.3%	1	0.2%	3	2.5%
100万円以下	17	2.9%	104	25.6%	26	21.5%
100万円超～200万円以下	47	7.9%	140	34.4%	33	27.3%
200万円超～300万円以下	176	29.6%	111	27.3%	23	19.0%
300万円超～400万円以下	154	25.9%	35	8.6%	17	14.0%
400万円超～500万円以下	85	14.3%	4	1.0%	8	6.6%
500万円超～600万円以下	53	8.9%	3	0.7%	3	2.5%
600万円超～700万円以下	20	3.4%	0	0.0%	2	1.7%
700万円超～800万円以下	9	1.5%	0	0.0%	2	1.7%
800万円超～900万円以下	8	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	6	1.0%	0	0.0%	2	1.7%
わからない	18	3.0%	9	2.2%	2	1.7%
計	595	100.0%	407	100.0%	121	100.0%
無回答	2		0		1	

職業 年収	学生（留学を含む）		専業主婦（夫）		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	1	12.5%	39	83.0%	106	46.5%	10	22.7%
100万円以下	6	75.0%	5	10.6%	61	26.8%	11	25.0%
100万円超～200万円以下	0	0.0%	1	2.1%	27	11.8%	6	13.6%
200万円超～300万円以下	1	12.5%	1	2.1%	12	5.3%	5	11.4%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	0	0.0%	4	1.8%	1	2.3%
400万円超～500万円以下	0	0.0%	0	0.0%	4	1.8%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	1	2.1%	14	6.1%	8	18.2%
計	8	100.0%	47	100.0%	228	100.0%	44	100.0%
無回答	1		1		6		12	

表4-2-2 職業×年収【無延滞者】

(単位：人)

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
100万円以下	6	0.6%	35	20.1%	6	12.2%
100万円超～200万円以下	32	3.1%	55	31.6%	8	16.3%
200万円超～300万円以下	202	19.5%	68	39.1%	10	20.4%
300万円超～400万円以下	274	26.5%	6	3.4%	5	10.2%
400万円超～500万円以下	214	20.7%	7	4.0%	4	8.2%
500万円超～600万円以下	120	11.6%	1	0.6%	5	10.2%
600万円超～700万円以下	77	7.4%	0	0.0%	2	4.1%
700万円超～800万円以下	36	3.5%	0	0.0%	2	4.1%
800万円超～900万円以下	20	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	30	2.9%	0	0.0%	5	10.2%
わからない	23	2.2%	2	1.1%	2	4.1%
計	1,035	100.0%	174	100.0%	49	100.0%
無回答	6		2		0	

職業 年収	学生（留学を含む）		専業主婦（夫）		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	5	31.3%	29	72.5%	27	37.5%	1	5.9%
100万円以下	4	25.0%	7	17.5%	15	20.8%	3	17.6%
100万円超～200万円以下	5	31.3%	2	5.0%	6	8.3%	2	11.8%
200万円超～300万円以下	1	6.3%	1	2.5%	8	11.1%	3	17.6%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	1	2.5%	8	11.1%	4	23.5%
400万円超～500万円以下	0	0.0%	0	0.0%	3	4.2%	2	11.8%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	0	0.0%	2	2.8%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
900万円超	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%
わからない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	1	5.9%
計	16	100.0%	40	100.0%	72	100.0%	17	100.0%
無回答	1		0		0		2	

(3)年齢と年収との関係

奨学生本人の年齢と年収との関係を見ると、延滞者では年齢区分により年収にあまり変化がみられない。
無延滞者では、40代までは年齢が上がるにつれ年収が高くなる傾向にある。

表4-3-1 年齢×年収【延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	34	9.2%	52	10.5%	47	12.9%	29	12.9%
100万円以下	64	17.3%	82	16.5%	46	12.6%	40	17.9%
100万円超～200万円以下	76	20.5%	71	14.3%	57	15.6%	53	23.7%
200万円超～300万円以下	115	31.0%	103	20.7%	79	21.6%	33	14.7%
300万円超～400万円以下	52	14.0%	89	17.9%	43	11.8%	27	12.1%
400万円超～500万円以下	12	3.2%	45	9.1%	32	8.8%	12	5.4%
500万円超～600万円以下	4	1.1%	27	5.4%	21	5.8%	9	4.0%
600万円超～700万円以下	2	0.5%	7	1.4%	9	2.5%	5	2.2%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	1	0.2%	8	2.2%	2	0.9%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	4	0.8%	3	0.8%	1	0.4%
900万円超	1	0.3%	1	0.2%	4	1.1%	2	0.9%
わからない	11	3.0%	15	3.0%	16	4.4%	11	4.9%
計	371	100.0%	497	100.0%	365	100.0%	224	100.0%
無回答	2		7		2		5	

表4-3-2 年齢×年収【無延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	22	3.7%	36	5.3%	5	4.6%	0	0.0%
100万円以下	36	6.0%	34	5.0%	3	2.8%	3	21.4%
100万円超～200万円以下	58	9.6%	42	6.2%	8	7.3%	2	14.3%
200万円超～300万円以下	178	29.6%	102	15.0%	10	9.2%	3	21.4%
300万円超～400万円以下	162	26.9%	119	17.5%	17	15.6%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	86	14.3%	126	18.5%	17	15.6%	2	14.3%
500万円超～600万円以下	33	5.5%	80	11.8%	14	12.8%	1	7.1%
600万円超～700万円以下	12	2.0%	62	9.1%	6	5.5%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	3	0.5%	26	3.8%	10	9.2%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	1	0.2%	17	2.5%	3	2.8%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	21	3.1%	13	11.9%	3	21.4%
わからない	11	1.8%	15	2.2%	3	2.8%	0	0.0%
計	602	100.0%	680	100.0%	109	100.0%	14	100.0%
無回答	4		3		2		0	

(4)学種と年収との関係

学種と奨学生本人の年収との関係を見ると、延滞者は、ほぼすべての学種で「300万円以下」の比率が20%程度と高い。無延滞者では、大学や大学院の年収が高い傾向にある。

表4-4-1 学種×年収【延滞者】

(単位：人)

学種 年収	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	31	23.8%	0	0.0%	13	11.5%
100万円以下	26	20.0%	0	0.0%	22	19.5%
100万円超～200万円以下	35	26.9%	0	0.0%	22	19.5%
200万円超～300万円以下	22	16.9%	1	25.0%	29	25.7%
300万円超～400万円以下	7	5.4%	0	0.0%	14	12.4%
400万円超～500万円以下	2	1.5%	0	0.0%	10	8.8%
500万円超～600万円以下	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%
わからない	5	3.8%	2	50.0%	2	1.8%
計	130	100.0%	4	100.0%	113	100.0%
無回答	5		0		3	

学種 年収	大学		大学院		専修学校専門課程		専修学校高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	72	9.0%	3	5.8%	42	11.9%	1	50.0%
100万円以下	112	13.9%	8	15.4%	64	18.1%	0	0.0%
100万円超～200万円以下	121	15.1%	11	21.2%	67	19.0%	1	50.0%
200万円超～300万円以下	176	21.9%	8	15.4%	94	26.6%	0	0.0%
300万円超～400万円以下	145	18.1%	3	5.8%	42	11.9%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	66	8.2%	4	7.7%	19	5.4%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	43	5.4%	7	13.5%	9	2.5%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	19	2.4%	3	5.8%	1	0.3%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	8	1.0%	1	1.9%	1	0.3%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	7	0.9%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
900万円超	5	0.6%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	29	3.6%	2	3.8%	13	3.7%	0	0.0%
計	803	100.0%	52	100.0%	353	100.0%	2	100.0%
無回答	4		1		3		0	

表4-4-2 学種×年収【無延滞者】

(単位：人)

学種 年収	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	0	0.0%	1	1.7%	9	13.0%
100万円以下	0	0.0%	2	3.3%	8	11.6%
100万円超～200万円以下	0	0.0%	0	0.0%	7	10.1%
200万円超～300万円以下	1	33.3%	9	15.0%	25	36.2%
300万円超～400万円以下	1	33.3%	7	11.7%	14	20.3%
400万円超～500万円以下	1	33.3%	14	23.3%	3	4.3%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	4	6.7%	2	2.9%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	11	18.3%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	4	6.7%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	6	10.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	2	3.3%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%
計	3	100.0%	60	100.0%	69	100.0%
無回答	0		0		2	

学種 年収	大学		大学院		専修学校専門課程		専修学校高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	39	4.3%	1	0.9%	13	5.3%	0	0.0%
100万円以下	38	4.2%	3	2.6%	25	10.2%	0	0.0%
100万円超～200万円以下	59	6.5%	2	1.7%	42	17.1%	0	0.0%
200万円超～300万円以下	166	18.2%	12	10.4%	80	32.7%	0	0.0%
300万円超～400万円以下	216	23.7%	17	14.8%	43	17.6%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	173	19.0%	19	16.5%	21	8.6%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	88	9.6%	18	15.7%	16	6.5%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	57	6.3%	12	10.4%	0	0.0%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	26	2.9%	8	7.0%	1	0.4%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	6	0.7%	9	7.8%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	24	2.6%	11	9.6%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	20	2.2%	3	2.6%	4	1.6%	1	100.0%
計	912	100.0%	115	100.0%	245	100.0%	1	100.0%
無回答	6		0		1		0	

5 延滞の状況

(1)延滞している理由（複数回答）

調査時点で延滞中の者に、延滞している理由を質問した。

延滞している理由は、「本人の低所得」が64.5%で最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」が32.6%である。

男女別でみると、男性は女性に比べて「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」の比率が高い。

また、「奨学金の延滞額の増加」は男女ほぼ同率となっている。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-1-1 延滞している理由（複数回答）×男女別

（単位：人）

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	443	61.4%	444	68.0%	887	64.5%
本人が失業中（無職）	186	25.8%	175	26.8%	361	26.3%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	18	2.5%	25	3.8%	43	3.1%
本人の病気・けが	111	15.4%	122	18.7%	233	16.9%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	263	36.4%	177	27.1%	440	32.0%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	108	15.0%	86	13.2%	194	14.1%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	96	13.3%	93	14.2%	189	13.7%
本人の配偶者の経済困難	24	3.3%	63	9.6%	87	6.3%
家族の病気・介護	67	9.3%	74	11.3%	141	10.3%
忙しい（金融機関に行けない等）	46	6.4%	39	6.0%	85	6.2%
返還割賦額（月額）が高い	142	19.7%	113	17.3%	255	18.5%
奨学金の延滞額の増加	230	31.9%	218	33.4%	448	32.6%
特に明確な理由はないがなんとなく	11	1.5%	7	1.1%	18	1.3%
その他	51	7.1%	76	11.6%	127	9.2%
回答者数	722		653		1,375	
無回答	58		40		98	

<参考> 過年度調査の結果【延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	933	62.9%	1,083	55.9%	1,219	62.9%
本人が失業中（無職）	375	25.3%	442	22.8%	491	25.3%
本人が学生（留学を含む）	8	0.5%	6	0.3%	21	1.1%
本人の病気・けが	278	18.7%	272	14.0%	287	14.8%
本人の借入金の返済	462	31.2%	510	26.3%	638	32.9%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	244	16.5%	325	16.8%	336	17.3%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	198	13.4%	261	13.5%	316	16.3%
本人の配偶者の経済困難	89	6.0%	119	6.1%	127	6.6%
家族の病気・介護	158	10.7%	211	10.9%	236	12.2%
忙しい（金融機関に行けない等）	102	6.9%	94	4.9%	129	6.7%
返還割賦額（月額）が高い	283	19.1%	313	16.2%	370	19.1%
奨学金の延滞額の増加	522	35.2%	623	32.1%	802	41.4%
奨学金は返還するものだとは思っていない	19	1.3%	20	1.0%	18	0.9%
その他	116	7.8%	172	8.9%	213	11.0%
回答者数	1,483		1,938		1,938	

延滞している理由の中で最も大きな理由を質問したところ、男女ともに「本人の低所得」が高く合計で32.5%であり、次いで「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」が高く合計で14.7%となっている。

表5-1-2 延滞している最たる理由（択一）×男女別

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	203	30.9%	202	34.3%	405	32.5%
本人が失業中（無職）	66	10.1%	53	9.0%	119	9.6%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	3	0.5%	4	0.7%	7	0.6%
本人の病気・けが	44	6.7%	55	9.3%	99	8.0%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	118	18.0%	65	11.0%	183	14.7%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	27	4.1%	24	4.1%	51	4.1%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	29	4.4%	36	6.1%	65	5.2%
本人の配偶者の経済困難	4	0.6%	14	2.4%	18	1.4%
家族の病気・介護	18	2.7%	12	2.0%	30	2.4%
忙しい（金融機関に行けない等）	12	1.8%	11	1.9%	23	1.8%
返還割賦額（月額）が高い	39	5.9%	17	2.9%	56	4.5%
奨学金の延滞額の増加	65	9.9%	56	9.5%	121	9.7%
特に明確な理由はないがなんとなく	6	0.9%	2	0.3%	8	0.6%
その他	22	3.4%	38	6.5%	60	4.8%
回答者数	656	100.0%	589	100.0%	1,245	100.0%
無回答	124		104		228	

延滞している理由を「本人の低所得」と回答した者の年収をみると、「300万円未満」が80.5%を占める。
(延滞者全体：67.3%)。

表5-1-3 「本人の低所得」×本人の年収 (単位：人)

区分	「本人の低所得」 と回答した者の年収		延滞者全体の年収（再掲）			
	人数	比率	人数	比率		
0円	67	7.6%	80.5%	162	11.1%	67.3%
100万円以下	182	20.6%		232	15.9%	
100万円超～200万円以下	217	24.6%		257	17.6%	
200万円超～300万円以下	244	27.7%		330	22.6%	
300万円超～400万円以下	111	12.6%	17.6%	211	14.5%	29.0%
400万円超～500万円以下	28	3.2%		101	6.9%	
500万円超～600万円以下	6	0.7%		61	4.2%	
600万円超～700万円以下	6	0.7%		23	1.6%	
700万円超～800万円以下	3	0.3%		11	0.8%	
800万円超～900万円以下	1	0.1%		8	0.5%	
900万円超	0	0.0%		8	0.5%	
わからない	17	1.9%	1.9%	53	3.6%	3.6%
計	882	100.0%	100.0%	1,457	100.0%	100.0%
無回答	5			16		

(2)主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係（複数回答）

主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係をみると、主に返還金を用意する人が「奨学生本人」では延滞理由は「本人の低所得」が68.1%で最も高く、次いで「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」が37.2%である。また、主に返還金を用意する人が「本人の親」では、延滞理由は「本人の低所得」が51.9%で最も高く、次いで「本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）」が42.1%である。

主に返還金を用意する人が「本人の配偶者・パートナー」では、延滞理由は「本人の低所得」が53.3%で最も高く、次いで「本人の配偶者の経済困難」、「奨学金の延滞金の増加」が30.0%である。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-2 主に返還金を用意する人×延滞している理由（複数回答）

（単位：人）

延滞している理由	奨学生本人		本人の親		本人の配偶者（夫または妻）、パートナー	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	730	68.1%	122	51.9%	16	53.3%
本人が失業中（無職）	271	25.3%	70	29.8%	8	26.7%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	37	3.5%	5	2.1%	0	0.0%
本人の病気・けが	165	15.4%	51	21.7%	7	23.3%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	399	37.2%	31	13.2%	2	6.7%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	140	13.1%	47	20.0%	2	6.7%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	80	7.5%	99	42.1%	3	10.0%
本人の配偶者の経済困難	69	6.4%	8	3.4%	9	30.0%
家族の病気・介護	107	10.0%	25	10.6%	2	6.7%
忙しい（金融機関に行けない等）	77	7.2%	6	2.6%	1	3.3%
返還割賦額（月額）が高い	212	19.8%	38	16.2%	2	6.7%
奨学金の延滞額の増加	360	33.6%	67	28.5%	9	30.0%
特に明確な理由はないがなんとなく	14	1.3%	4	1.7%	0	0.0%
その他	95	8.9%	20	8.5%	7	23.3%
回答者数	1,072		235		30	
無回答	77		14		1	

(3)年収と延滞している理由との関係（複数回答）

奨学生本人の年収と延滞している理由との関係を見ると、年収「0円」では延滞理由は「本人が失業中（無職）」が65.4%で最も高く、「1～400万円以下」では「本人の低所得」が、「400万円超」では「本人の借入金の返済」及び「奨学金の延滞額の増加」が高くなる。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-3 奨学生本人の年収×延滞している理由（複数回答）

（単位：人）

延滞している理由 年収	0円		1円～		100万円超～		200万円超～	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	67	43.8%	182	84.7%	217	87.5%	244	78.5%
本人が失業（無職）	100	65.4%	79	36.7%	60	24.2%	62	19.9%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	2	1.3%	4	1.9%	8	3.2%	12	3.9%
本人の病気・けが	64	41.8%	52	24.2%	42	16.9%	37	11.9%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	14	9.2%	29	13.5%	72	29.0%	115	37.0%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	11	7.2%	21	9.8%	39	15.7%	40	12.9%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	31	20.3%	30	14.0%	27	10.9%	38	12.2%
本人の配偶者の経済困難	14	9.2%	17	7.9%	14	5.6%	7	2.3%
家族の病気・介護	11	7.2%	26	12.1%	26	10.5%	31	10.0%
忙しい（金融機関に行けない等）	2	1.3%	5	2.3%	11	4.4%	24	7.7%
返還割賦額（月額）が高い	17	11.1%	32	14.9%	52	21.0%	56	18.0%
奨学金の延滞額の増加	40	26.1%	59	27.4%	82	33.1%	106	34.1%
特に明確な理由はないがなんとなく	0	0.0%	1	0.5%	1	0.4%	4	1.3%
その他	16	10.5%	22	10.2%	11	4.4%	27	8.7%
回答者数	153		215		248		311	
無回答	9		17		9		19	

延滞している理由 年収	300万円超～		400万円超～		500万円超～		600万円以上・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	111	55.8%	28	30.4%	6	11.3%	32	74.4%
本人が失業（無職）	27	13.6%	4	4.3%	6	11.3%	23	53.5%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	8	4.0%	4	4.3%	1	1.9%	4	9.3%
本人の病気・けが	17	8.5%	6	6.5%	3	5.7%	12	27.9%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	97	48.7%	49	53.3%	31	58.5%	33	76.7%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	32	16.1%	21	22.8%	11	20.8%	19	44.2%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	24	12.1%	12	13.0%	5	9.4%	22	51.2%
本人の配偶者の経済困難	12	6.0%	12	13.0%	6	11.3%	5	11.6%
家族の病気・介護	15	7.5%	13	14.1%	10	18.9%	9	20.9%
忙しい（金融機関に行けない等）	21	10.6%	7	7.6%	4	7.5%	11	25.6%
返還割賦額（月額）が高い	49	24.6%	26	28.3%	9	17.0%	14	32.6%
奨学金の延滞額の増加	66	33.2%	36	39.1%	25	47.2%	34	79.1%
特に明確な理由はないがなんとなく	1	0.5%	4	4.3%	2	3.8%	5	11.6%
その他	16	8.0%	4	4.3%	8	15.1%	23	53.5%
回答者数	199		92		53		43	
無回答	12		9		8		76	

(4)職業と延滞している理由との関係（複数回答）

奨学生本人の職業と延滞している理由との関係を見ると、多くの職業区分において延滞理由は「本人の低所得」の比率が高く、特に「非正規社（職）員・従業員」、「自営業／家業」、「学生（留学を含む）」で高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-4 職業×延滞している理由（複数回答）

（単位：人）

延滞している理由	職業		正社（職）員		非正規社（職）員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	295	53.6%	312	81.0%	98	86.7%		
本人が失業中（無職）	62	11.3%	92	23.9%	12	10.6%		
督促等に応じて手続等をするのが面倒	17	3.1%	17	4.4%	3	2.7%		
本人の病気・けが	46	8.4%	57	14.8%	10	8.8%		
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	248	45.1%	112	29.1%	36	31.9%		
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	88	16.0%	60	15.6%	12	10.6%		
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	69	12.5%	50	13.0%	15	13.3%		
本人の配偶者の経済困難	38	6.9%	22	5.7%	8	7.1%		
家族の病気・介護	54	9.8%	44	11.4%	11	9.7%		
忙しい（金融機関に行けない等）	56	10.2%	18	4.7%	5	4.4%		
返還割賦額（月額）が高い	113	20.5%	75	19.5%	29	25.7%		
奨学金の延滞額の増加	193	35.1%	137	35.6%	38	33.6%		
特に明確な理由はないがなんとなく	12	2.2%	3	0.8%	1	0.9%		
その他	57	10.4%	33	8.6%	6	5.3%		
回答者数	550		385		113			
無回答	47		22		9			

延滞している理由	職業		学生（留学を含		専業主婦（夫）		無職・失業中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	6	85.7%	28	58.3%	122	54.5%	21	43.8%		
本人が失業（無職）	0	0.0%	19	39.6%	165	73.7%	10	20.8%		
督促等に応じて手続等をするのが面倒	0	0.0%	0	0.0%	6	2.7%	0	0.0%		
本人の病気・けが	0	0.0%	9	18.8%	97	43.3%	13	27.1%		
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	0	0.0%	1	2.1%	34	15.2%	7	14.6%		
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	1	14.3%	3	6.3%	21	9.4%	4	8.3%		
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	3	42.9%	13	27.1%	28	12.5%	8	16.7%		
本人の配偶者の経済困難	0	0.0%	12	25.0%	5	2.2%	2	4.2%		
家族の病気・介護	1	14.3%	1	2.1%	21	9.4%	6	12.5%		
忙しい（金融機関に行けない等）	0	0.0%	1	2.1%	5	2.2%	0	0.0%		
返還割賦額（月額）が高い	0	0.0%	4	8.3%	27	12.1%	5	10.4%		
奨学金の延滞額の増加	0	0.0%	13	27.1%	52	23.2%	12	25.0%		
特に明確な理由はないがなんとなく	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.2%		
その他	3	42.9%	4	8.3%	13	5.8%	10	20.8%		
回答者数	7		48		224		48			
無回答	2		0		10		8			

(5)延滞経験の有無（択一）

調査時点で無延滞の者に、これまでに延滞したことがあるかを質問した。

「延滞したことがある」者は21.1%である。

表5-5 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
延滞したことがない	1,031	73.1%
延滞したことがある	298	21.1%
わからない	82	5.8%
計	1,411	100.0%
無回答	3	

＜参考＞過年度調査の結果【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
延滞したことがない	1,035	73.2%	1,260	73.6%	1,511	75.0%	1,088	75.3%
延滞したことがある	291	20.6%	369	21.5%	399	19.8%	285	19.7%
わからない	87	6.2%	84	4.9%	104	5.2%	71	4.9%
計	1,413	100.0%	1,713	100.0%	2,014	100.0%	1,444	100.0%

(6)延滞になったことを何で知ったか（複数回答）

「延滞したことがある」と回答した者に、延滞になったことを何で知ったかを質問した。

「機構からの振替不能（延滞）通知」が63.3%で最も高く、次いで「機構からの電話」32.7%、「口座残高を確認して」が25.5%である。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-6 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
機構からの振替不能（延滞）通知	186	63.3%
機構からの電話	96	32.7%
連帯保証人・保証人からの連絡	3	1.0%
口座残高を確認して	75	25.5%
親・家族等からの連絡	20	6.8%
債権回収会社からの連絡	26	8.8%
その他	5	1.7%
回答者数	294	
無回答	4	

(7)延滞をしたときに最初にしたこと（択一）

調査時点で延滞中の者および無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞したときに最初に行ったことを質問した。

無延滞者は「入金した」が73.0%で最も高いのに対し、延滞者は「奨学金相談センターに電話した」が30.4%で最も高い。

表5-7

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
入金した	205	14.5%	214	73.0%
返還期限猶予を申請した	245	17.4%	13	4.4%
「返還のてびき」をみた	42	3.0%	2	0.7%
機構ホームページをみた	85	6.0%	13	4.4%
奨学金相談センターに電話した	429	30.4%	33	11.3%
文書・FAXで機構に相談した	13	0.9%	0	0.0%
連帯保証人・保証人に相談した	53	3.8%	1	0.3%
家族・親族（連帯保証人・保証人以外）に相談した	92	6.5%	7	2.4%
その他	29	2.1%	10	3.4%
何もしなかった	218	15.5%	-	-
計	1,411	100.0%	293	100.0%
無回答	62		5	

(8)延滞を解消できた理由（択一）

調査時点で無延滞の者で、「延滞したことがある」と回答した者に、延滞を解消できた理由として最もあてはまるものを質問した。

「振替口座に入金を忘れた等の偶発的な延滞だった」が73.8%と、高い比率となった。

表5-8

（単位：人）

区分	無延滞者	
	人数	比率
振替口座に入金を忘れた等の偶発的な延滞だった	217	73.8%
収入が増えた	6	2.0%
就職した	12	4.1%
親・家族からの資金援助があった	27	9.2%
一時的な収入があった	6	2.0%
返還期限猶予が承認された	16	5.4%
その他	10	3.4%
計	294	100.0%
無回答	4	

6 返還期限猶予制度・減額返還制度について

(1) 返還期限猶予制度の認知状況（択一）

返還期限猶予制度の認知率は、延滞者で78.3%、無延滞者で60.1%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で38.8%であるのに対し、延滞者では5.4%と大きな差がみられる。また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が54.4%と、無延滞者に比べて高い。

表6-1

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	42	2.9%	78.3%	279	20.0%	60.1%
返還が始まる前に知っていた	36	2.5%		262	18.8%	
返還が始まってから知った	267	18.5%		263	18.9%	
延滞督促を受けてから知った	784	54.4%		34	2.4%	
知らない	312	21.7%	21.7%	557	39.9%	39.9%
計	1,441	100.0%	100.0%	1,395	100.0%	100.0%
無回答	32			19		

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	57	3.6%	80.5%	56	3.1%	79.1%	69	3.3%	80.1%
返還が始まる前には知っていた	53	3.3%		58	3.2%		57	2.7%	
返還が始まってから知った	302	19.0%		338	18.7%		367	17.6%	
延滞督促を受けてから知った	867	54.6%		979	54.1%		1,180	56.5%	
知らない	309	19.5%	19.5%	379	20.9%	20.9%	415	19.9%	19.9%
計	1,588	100.0%	100.0%	1,810	100.0%	100.0%	2,088	100.0%	100.0%

【無延滞者】

（単位：人）

区分	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	268	19.0%	59.3%	371	21.7%	61.8%	355	17.6%	62.1%
返還が始まる前に知っていた	264	18.7%		328	19.2%		450	22.3%	
返還が始まってから知った	282	20.0%		318	18.6%		399	19.8%	
延滞督促を受けてから知った	23	1.6%		41	2.4%		50	2.5%	
知らない	575	40.7%	40.7%	653	38.2%	38.2%	765	37.9%	37.9%
計	1,412	100.0%	100.0%	1,711	100.0%	100.0%	2,019	100.0%	100.0%

(2)年齢と返還期限猶予制度の認知状況との関係（択一）

奨学生本人の年齢と猶予制度の認知状況との関係を見ると、「返還が始まる前までに猶予制度を知っていた」比率が、若い年代の方が高くなっている。

表6-2-1 年齢×返還期限猶予制度の認知状況【延滞者】

（単位：人）

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	16	4.4%	11	2.2%	11	3.1%	4	1.8%
返還が始まる前に知っていた	11	3.0%	13	2.6%	8	2.2%	4	1.8%
返還が始まってから知った	58	15.9%	107	21.6%	64	17.9%	38	17.0%
延滞督促を受けてから知った	174	47.7%	273	55.0%	196	54.9%	141	63.2%
知らない	106	29.0%	92	18.5%	78	21.8%	36	16.1%
計	365	100.0%	496	100.0%	357	100.0%	223	100.0%
無回答	8		8		10		6	

表6-2-2 年齢×返還期限猶予制度の認知状況【無延滞者】

（単位：人）

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	139	23.2%	122	18.1%	14	12.7%	4	33.3%
返還が始まる前に知っていた	142	23.7%	107	15.9%	13	11.8%	0	0.0%
返還が始まってから知った	83	13.8%	151	22.4%	27	24.5%	2	16.7%
延滞督促を受けてから知った	9	1.5%	20	3.0%	5	4.5%	0	0.0%
知らない	227	37.8%	273	40.6%	51	46.4%	6	50.0%
計	600	100.0%	673	100.0%	110	100.0%	12	100.0%
無回答	6		10		1		2	

(3)年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係（択一）

奨学生本人の年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係をみると、延滞者では全年収を通じて「延滞督促を受けてから知った」比率が高い。

表6-3-1 年収×返還期限猶予制度の認知状況【延滞者】

（単位：人）

年収 認知状況	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	9	5.7%	6	2.6%	4	1.6%	7	2.2%
返還が始まる前に知っていた	4	2.5%	7	3.1%	5	2.0%	8	2.5%
返還が始まってから知った	24	15.2%	37	16.2%	46	18.1%	66	20.3%
延滞督促を受けてから知った	98	62.0%	143	62.4%	150	59.1%	165	50.8%
知らない	23	14.6%	36	15.7%	49	19.3%	79	24.3%
計	158	100.0%	229	100.0%	254	100.0%	325	100.0%
無回答	4		3		3		5	

年収 認知状況	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	8	3.9%	4	4.1%	1	1.7%	3	3.1%
返還が始まる前に知っていた	4	1.9%	3	3.1%	2	3.4%	3	3.1%
返還が始まってから知った	42	20.3%	26	26.5%	9	15.3%	15	15.5%
延滞督促を受けてから知った	106	51.2%	43	43.9%	33	55.9%	38	39.2%
知らない	47	22.7%	22	22.4%	14	23.7%	38	39.2%
計	207	100.0%	98	100.0%	59	100.0%	97	100.0%
無回答	4		3		2		22	

表6-3-2 年収×返還期限猶予制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

年収 認知状況	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	9	14.8%	19	25.0%	21	19.3%	46	15.8%
返還が始まる前に知っていた	7	11.5%	14	18.4%	22	20.2%	62	21.3%
返還が始まってから知った	16	26.2%	12	15.8%	23	21.1%	65	22.3%
延滞督促を受けてから知った	5	8.2%	1	1.3%	5	4.6%	8	2.7%
知らない	24	39.3%	30	39.5%	38	34.9%	110	37.8%
計	61	100.0%	76	100.0%	109	100.0%	291	100.0%
無回答	2		0		1		2	

年収 認知状況	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	75	25.4%	42	18.4%	28	22.4%	38	18.9%
返還が始まる前に知っていた	51	17.3%	45	19.7%	24	19.2%	36	17.9%
返還が始まってから知った	47	15.9%	47	20.6%	19	15.2%	33	16.4%
延滞督促を受けてから知った	6	2.0%	4	1.8%	3	2.4%	2	1.0%
知らない	116	39.3%	90	39.5%	51	40.8%	92	45.8%
計	295	100.0%	228	100.0%	125	100.0%	201	100.0%
無回答	3		3		3		14	

(4)返還期限猶予制度を何で知ったか（複数回答）

返還期限猶予制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、返還期限猶予制度を何で知ったかを質問した。

延滞者は「機構からの通知」、「奨学金相談センター」で猶予制度を知った比率がそれぞれ46.2%、24.6%と高く、無延滞者は「返還のてびき」、「奨学金申請時・採用時の資料」、「機構のホームページ」で猶予制度を知った比率がそれぞれ44.9%、41.3%、22.3%と高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表6-4-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	78	7.1%	340	41.3%
返還のてびき	140	12.7%	370	44.9%
機構のホームページ	163	14.8%	184	22.3%
機構からの通知	509	46.2%	100	12.1%
奨学金相談センター	271	24.6%	9	1.1%
学校の説明会	22	2.0%	144	17.5%
連帯保証人・保証人	28	2.5%	10	1.2%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	52	4.7%	59	7.2%
債権回収会社	151	13.7%	6	0.7%
テレビ・新聞などのマスメディア	9	0.8%	26	3.2%
スカラシップ・アドバイザー	14	1.3%	1	0.1%
その他	24	2.2%	19	2.3%
回答者数	1,101		824	
無回答	28		14	

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	88	7.1%	99	7.2%	105	6.5%
返還のてびき	194	15.6%	231	16.7%	240	14.9%
機構のホームページ	180	14.5%	173	12.5%	196	12.2%
機構からの通知	585	47.1%	661	47.8%	823	51.0%
奨学金相談センター	270	21.7%	310	22.4%	374	23.2%
学校の説明会	32	2.6%	25	1.8%	35	2.2%
連帯保証人・保証人	29	2.3%	31	2.2%	26	1.6%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	60	4.8%	66	4.8%	72	4.5%
債権回収会社	174	14.0%	183	13.2%	235	14.6%
テレビ・新聞などのマスメディア	14	1.1%	12	0.9%	10	0.6%
スカラシップ・アドバイザー	13	1.0%	10	0.7%	15	0.9%
その他	24	1.9%	23	1.7%	34	2.1%
回答者数	1,242		1,383		1,613	

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	333	40.7%	386	37.4%	458	37.1%
返還のてびき	384	46.9%	444	43.1%	585	47.4%
機構のホームページ	105	12.8%	143	13.9%	227	18.4%
機構からの通知	37	4.5%	148	14.4%	180	14.6%
奨学金相談センター	4	0.5%	17	1.6%	18	1.5%
学校の説明会	84	10.3%	181	17.6%	231	18.7%
連帯保証人・保証人	2	0.2%	10	1.0%	7	0.6%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	20	2.4%	75	7.3%	81	6.6%
債権回収会社	0	0.0%	1	0.1%	7	0.6%
テレビ・新聞などのマスメディア	9	1.1%	27	2.6%	40	3.2%
スカラシップ・アドバイザー	3	0.4%	5	0.5%	4	0.3%
その他	1	0.1%	12	1.2%	15	1.2%
回答者数	819		1,031		1,234	

延滞者に対して、返還期限猶予制度の利用状況を質問した。（択一）

「過去に利用したことはあるが、今は利用していない」が29.9%で高く、次いで「申請したことがない」「現在、利用中である」がそれぞれ24.3%、23.6%と高かった。

表6-4-2

区分	延滞者	
	人数	比率
現在、利用中である	271	23.6%
申請の準備または検討をしている（書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む）	128	11.1%
過去に利用したことがあるが、今は利用していない	344	29.9%
申請したことはあるが、承認されなかった	76	6.6%
申請したことがない	280	24.3%
その他	51	4.4%
計	1,150	100.0%
無回答	323	

「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」または「申請したことがない」と回答した延滞者に対して、利用しない理由を質問した。（択一）

「すでに猶予期間（通算120か月）を利用してしまったため」が25.5%で最も高く、次いで「手続きがよくわからない、よく知らなかったため」が23.9%と高かった。

表6-4-3

区分	延滞者	
	人数	比率
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	118	20.5%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	24	4.2%
すでに猶予期間（通算120か月）を利用してしまったため	147	25.5%
猶予申請しないで返還する予定のため	73	12.7%
猶予申請手続きに手間がかかるため	44	7.6%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	138	23.9%
その他	33	5.7%
計	577	100.0%
無回答	47	

(5)減額返還制度の認知状況（択一）

減額返還制度の認知率は、延滞者で58.8%、無延滞者で51.8%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で33.5%であるのに対し、延滞者では4.5%と大きな差がみられる。また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が42.3%と無延滞者に比べて高い。

表6-5

(単位：人)

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	40	2.8%	58.8%	232	16.8%	51.8%
返還が始まる前に知っていた	24	1.7%		230	16.7%	
返還が始まってから知った	173	12.1%		225	16.3%	
延滞督促を受けてから知った	606	42.3%		28	2.0%	
知らない	591	41.2%	41.2%	665	48.2%	48.2%
計	1,434	100.0%	100.0%	1,380	100.0%	100.0%
無回答	39			34		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	47	3.1%	62.8%	38	2.2%	62.1%	52	2.6%	62.1%
返還が始まる前に知っていた	27	1.8%		34	1.9%		41	2.0%	
返還が始まってから知った	226	14.7%		261	14.8%		270	13.3%	
延滞督促を受けてから知った	665	43.3%		761	43.2%		899	44.2%	
知らない	571	37.2%	37.2%	667	37.9%	37.9%	770	37.9%	37.9%
計	1,536	100.0%	100.0%	1,761	100.0%	100.0%	2,032	100.0%	100.0%

【無延滞者】

区分	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	209	15.6%	48.8%	295	18.0%	52.0%	267	13.8%	49.9%
返還が始まる前に知っていた	205	15.3%		270	16.4%		359	18.6%	
返還が始まってから知った	220	16.4%		258	15.7%		305	15.8%	
延滞督促を受けてから知った	22	1.6%		31	1.9%		33	1.7%	
知らない	688	51.2%	51.2%	789	48.0%	48.0%	968	50.1%	50.1%
計	1,344	100.0%	100.0%	1,643	100.0%	100.0%	1,932	100.0%	100.0%

(6)年齢と減額返還制度の認知状況との関係（択一）

年齢と減額返還制度の認知状況との関係をみると、延滞者では、年代に関係なく「延滞督促を受けてから知った」比率が高く、20代以下では、他の年代より「返還が始まる前までには知っていた」比率が高い。

表6-6-1 年齢×減額返還制度の認知状況【延滞者】

（単位：人）

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	16	4.3%	11	2.2%	10	2.8%	3	1.4%
返還が始まる前に知っていた	9	2.4%	7	1.4%	4	1.1%	4	1.8%
返還が始まってから知った	32	8.7%	76	15.4%	47	13.3%	18	8.2%
延滞督促を受けてから知った	135	36.6%	208	42.3%	148	41.9%	115	52.3%
知らない	177	48.0%	190	38.6%	144	40.8%	80	36.4%
計	369	100.0%	492	100.0%	353	100.0%	220	100.0%
無回答	4		12		14		9	

表6-6-2 年齢×減額返還制度の認知状況【無延滞者】

（単位：人）

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	118	20.2%	101	15.1%	10	9.1%	3	21.4%
返還が始まる前に知っていた	127	21.7%	91	13.6%	12	10.9%	0	0.0%
返還が始まってから知った	71	12.1%	130	19.4%	22	20.0%	2	14.3%
延滞督促を受けてから知った	6	1.0%	17	2.5%	5	4.5%	0	0.0%
知らない	263	45.0%	332	49.5%	61	55.5%	9	64.3%
計	585	100.0%	671	100.0%	110	100.0%	14	100.0%
無回答	21		12		1		0	

(7)年収と減額返還制度の認知状況との関係（択一）

奨学生本人の年収と減額返還制度の認知状況との関係を見ると、延滞者では全ての年収帯において「延滞督促を受けてから知った」と回答した比率が最も高かった。

表6-7-1 年収×減額返還制度の認知状況【延滞者】

（単位：人）

認知状況 \ 年収	0円		1円～		100万円超～		200万円超～	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	5	3.2%	6	2.6%	3	1.2%	7	2.2%
返還が始まる前に知っていた	2	1.3%	4	1.8%	3	1.2%	5	1.6%
返還が始まってから知った	22	13.9%	25	11.0%	30	11.9%	32	10.0%
延滞督促を受けてから知った	72	45.6%	102	44.7%	101	40.1%	142	44.4%
知らない	57	36.1%	91	39.9%	115	45.6%	134	41.9%
計	158	100.0%	228	100.0%	252	100.0%	320	100.0%
無回答	4		4		5		10	

認知状況 \ 年収	300万円超～		400万円超～		500万円超～		600万円超・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	10	4.9%	3	3.1%	2	3.3%	4	4.0%
返還が始まる前に知っていた	3	1.5%	2	2.1%	1	1.6%	4	4.0%
返還が始まってから知った	30	14.6%	21	21.6%	7	11.5%	6	6.1%
延滞督促を受けてから知った	90	43.9%	31	32.0%	29	47.5%	35	35.4%
知らない	72	35.1%	40	41.2%	22	36.1%	50	50.5%
計	205	100.0%	97	100.0%	61	100.0%	99	100.0%
無回答	6		4		0		20	

表6-7-2 年収×減額返還制度の認知状況【無延滞者】

（単位：人）

認知状況 \ 年収	0円		1円～		100万円超～		200万円超～	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	8	12.7%	15	20.3%	17	15.9%	37	13.2%
返還が始まる前に知っていた	9	14.3%	13	17.6%	20	18.7%	52	18.5%
返還が始まってから知った	15	23.8%	15	20.3%	21	19.6%	57	20.3%
延滞督促を受けてから知った	4	6.3%	0	0.0%	4	3.7%	7	2.5%
知らない	27	42.9%	31	41.9%	45	42.1%	128	45.6%
計	63	100.0%	74	100.0%	107	100.0%	281	100.0%
無回答	0		2		3		12	

認知状況 \ 年収	300万円超～		400万円超～		500万円超～		600万円超・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	55	19.0%	40	17.5%	24	19.2%	35	17.2%
返還が始まる前に知っていた	50	17.2%	41	18.0%	17	13.6%	27	13.3%
返還が始まってから知った	43	14.8%	36	15.8%	13	10.4%	25	12.3%
延滞督促を受けてから知った	1	0.3%	4	1.8%	3	2.4%	5	2.5%
知らない	141	48.6%	107	46.9%	68	54.4%	111	54.7%
計	290	100.0%	228	100.0%	125	100.0%	203	100.0%
無回答	8		3		3		12	

(8)減額返還制度を何で知ったか（複数回答）

減額返還制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、減額返還制度を何で知ったかを質問した。

延滞者は「機構からの通知」、「奨学金相談センター」で減額返還制度を知った比率がそれぞれ46.5%、25.2%で高く、無延滞者は「返還のてびき」、「奨学金申請時・採用時の資料」、「機構ホームページ」で減額返還制度を知った比率がそれぞれ45.0%、41.3%、23.8%で高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表6-8

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	64	7.9%	293	41.3%
返還のてびき	104	12.8%	319	45.0%
機構のホームページ	135	16.6%	169	23.8%
機構からの通知	379	46.5%	82	11.6%
奨学金相談センター	205	25.2%	11	1.6%
学校の説明会	17	2.1%	115	16.2%
連帯保証人・保証人	18	2.2%	7	1.0%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	32	3.9%	47	6.6%
債権回収会社	117	14.4%	4	0.6%
テレビ・新聞などのマスメディア	6	0.7%	20	2.8%
スカラシップ・アドバイザー	13	1.6%	1	0.1%
その他	9	1.1%	18	2.5%
回答者数	815		709	
無回答	28		6	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	65	7.1%	29	2.8%	68	5.6%
返還のてびき	129	14.1%	146	14.0%	122	10.1%
機構のホームページ	141	15.4%	137	13.1%	167	13.9%
機構からの通知	441	48.1%	469	45.0%	606	50.3%
奨学金相談センター	206	22.5%	249	23.9%	495	41.1%
学校の説明会	20	2.2%	16	1.5%	21	1.7%
連帯保証人・保証人	18	2.0%	26	2.5%	27	2.2%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	36	3.9%	44	4.2%	86	7.1%
債権回収会社	117	12.8%	140	13.4%	251	20.8%
テレビ・新聞などのマスメディア	9	1.0%	7	0.7%	15	1.2%
スカラシップ・アドバイザー	10	1.1%	11	1.1%	19	1.6%
回答者数	916		1,042		1,205	

【無延滞者】

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	259	40.6%	309	36.8%	338	35.5%
返還のてびき	297	46.6%	401	47.8%	455	47.8%
機構のホームページ	144	22.6%	149	17.8%	193	20.3%
機構からの通知	62	9.7%	114	13.6%	123	12.9%
奨学金相談センター	8	1.3%	10	1.2%	11	1.2%
学校の説明会	114	17.9%	166	19.8%	187	19.6%
連帯保証人・保証人	2	0.3%	5	0.6%	6	0.6%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	33	5.2%	54	6.4%	52	5.5%
債権回収会社	3	0.5%	1	0.1%	3	0.3%
テレビ・新聞などのマスメディア	20	3.1%	17	2.0%	29	3.0%
スカラシップ・アドバイザー	1	0.2%	2	0.2%	3	0.3%
回答者数	638		839		952	